



琉球大学教育学部〈令和5年度文部科学省委託事業〉

沖縄県の教員研修を支援し成果共有の場をつくる

「おきなわ教員研修高度化フォーラム」

キックオフイベント

司会：教育学部副学部長 山口剛史

開会のあいさつと本事業の概要説明

(教育学部長 萩野敦子)

講演 1 新たな教師の学びの姿について

(文部科学省総合教育政策局 教育人材政策課 教員免許・研修企画室長 榎原哲哉氏)

講演 2 沖縄県教育委員会が考える今後の教員研修の在り方や
研修履歴記録に関する準備状況について

(沖縄県教育庁 学校人事課 小中学校人事管理監 城間優氏)

講演 1・2 をめぐる質疑応答

紹介 1 本事業で展開されるプロジェクトや企画等について

(教育学部長 萩野敦子)

紹介 2 琉球大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻(教職大学院)と
教員研修の関わりについて

(教育学研究科高度教職実践専攻長 杉尾幸司)

閉会のあいさつ

(教職センター長 上地完治)

文部科学省 令和4年度補正予算

「教員研修高度化支援 教員研修の高度化に資するモデル開発事業」 公募の概要

■事業形態：文部科学省からの「委託」

■ポイント（事業の趣旨より）

背景＝教員免許状更新制廃止後の新たな教員研修制度のもと、地域の実情や教員育成指標等に合わせた研修が求められている

“教員研修の合理化・効率化に資する研修高度化に向けた取組を推進するため”

“多様な主体（教育委員会・大学等）の協働によるモデルを開発し、成果を広く普及することで”

“全国的な研修観の転換・定着を図る”

■事業の内容：以下の4つのテーマから（多少重なるのはよい）

（1）教員研修の成果確認と評価モデルの確立に関すること

（2）教員研修や授業研究等の高度化に関すること

（3）教師と管理職の対話と奨励におけるプロセスの最適化に関すること

（4）デジタル技術を活用した指導主事訪問の高度化や各学校の研修主事への支援など、

教育委員会と教育センターによる学校へのサポート機能の充実にに関すること

■事業期間：委託契約締結～令和6年3月29日

「おきなわ教員研修高度化フォーラム」の構築と展開 事業の概要

■沖縄県の教員研修に対する琉球大学教育学部の関わり方における成果と課題

アドバイザースタッフ派遣事業および県内市町村教育委員会との連携協定が一定の成果を挙げてきた。一方で、それらが単発の活動にとどまり、共有化・コンテンツ化されていないことに課題がある。

■本事業の目的

上記の課題および令和3年1月・同4年12月発出の二つの中教審答申を踏まえ、「教員研修の協働化」「教員研修の個別最適化」「教員研修の合理化」を図り、全県的に教員の力量を高めることを目的とする。

■本事業の概要

上記の目的に沿って、**研修コンテンツを発信し研修成果を共有するリアルかつバーチャルな空間(広場)を構築**する。取り組むのは大きく以下の3点。①各地域・各学校・各教員が実施する**研修内容や成果を全県的に共有し、研修の協働性**を高める。②大学が多彩な研修コンテンツを提供・公開・共有することで、県内各教員が**個別最適な研修内容を選択・実施**できるようにする。③**ネット上で受講→課題提出→修了証受理が可能なシステムを構築**するなど**研修の(質を落とさずに)合理化**を図る。

この3点に取り組みつつ、沖縄県教育委員会や沖縄県立総合教育センター等の諸機関と調整して、**県の教員研修履歴システムに連携**させていく。

申請時に提出したポンチ絵（研修の成果が集うイメージ）

※左列は本学既存の取組&橙枠はそれらを共有するアイデア／右列は新規の取組

取組A アドバイザリー
スタッフ派遣事業

派遣された研修の成果を公開し、
パッケージとしてレンタルする

取組B 協定&協働地域①石垣市

協定&協働地域②竹富町

協定&協働地域③宮古島市

協定&協働地域④島尻地区

協定&協働地域⑤那覇市

協定&協働地域⑥宜野湾市

協定&協働地域⑦中城村

協定&協働地域⑧大宜味村

8地域以外からも参加可能

各教員による
現職教員との
交流を支援し
NewsLetter等
で公開/紹介

取組C 離島の教員集まれ！教師塾

若手教員集まれ！がちゃがちゃクラス

各地域で成果
のあった校内
研修を共有

長期(半年)
研究員の
合同報告会

同一教材を用いて各
学校で研修実施、振
返りや成果を共有

- ・教育研究支援室に2名のスタッフ配置
- ・退職教員等を研修支援アドバイザーに
- ・年度末に研修交流フォーラムを開催
- ・県教委や県立総合教育センターと連携

研修の協働性
／個別最適性
／合理性を
実現する！

おきなわ教員研修高度化フォーラム

（研修の成果を学校や地域を越えて共有！）（研修履歴システムに連携！）

取組D ICT(いいこと)ドクター

学校種別に、授業等におけるICT活用のヒントやコツを学ぶ動画を
Dを提供。アドバイザースタッフ出張診察もあり。

取組E 特別支援教育学校からの特別支援教育ケア

特支学級や通級の子ども支援等について特支学校教諭や本学
教員をアドバイザーとして派遣。使用教材等は公開。

取組F おきなわ養護教諭ネットワーク

学校に一人、なのに学校を越えた横つながりが薄い県内養護教諭
Fを琉球大学教育学部・研究科がつないで支援。

取組G 教育学部集中講義・短期教員研修ドッキング

「プログラミング教育概論」等の現代的・地域的教育課題に
G関する集中講義を学生と受講、最終課題提出で修了証発行。

取組H いつでも・どこでも・ひとりでも研修

自動でコンテンツ学習できるシステム（業者に作製依頼）を活用
し、「授業動画45分×5コマ受講+レポート作成・提出45分」
Hのコースをクリアすれば修了証発行。

取組I 依頼型/申請型 研修支援プロジェクト

「日本語教育」「いじめ」「性教育」「保護者対応」「学校危機管理」
I「生徒会の自律」等、学校現場で喫緊の教育課題をテーマとする
全県的な研修を実施するほか、教育学部・研究科・教職センター
教員から校内研修・教員研修を支援するプロジェクトを募る。

取組J 講話・講演・授業動画リクエスト募集

広く県内教員から、学部HPの応募フォームを通して単発研修教
材動画のリクエストを受け。動画は1コンテンツ90分（動画
75分+振り返り記入15分=フォームから提出）。

「おきなわ教員研修高度化フォーラム」 ロゴマーク



こちらが本事業のロゴマークです。
沖縄の“O”を“聴く”耳のイメージで、
教員・研修・高度化の“K³”を“語る”口のイメージで、
それぞれデザインし、
土台となる“フォーラム(広場)”の上に乗せました。
色は、琉球大学のシンボルカラーである
「琉大黄金(くがに)」 「琉大ブルー」のほか、
沖縄県章に使われている「赤」系統と
沖縄のイメージ色調査で多かったという「緑」系統の
色を使用しています。
作製は、本学部卒業生であるアーティストの
平良亜弥さんをお願いしました。